

平成30年11月7日改訂
平成30年10月吉日

平成29年度自己評価報告書

大阪電気通信大学高等学校
校長 廣谷 明

「学校教育法施行規則等の一部を改正する省令」に示された「学校評価」をするために「学校内部評価アンケート」の名称で全教職員に実施しました。その内容を基本資料とし学校自己点検・評価委員会を開催しました。平成29年度「学校内部評価アンケート」、平成29年度生徒満足度アンケート結果及び平成28年度保護者満足度アンケート結果も参考資料とし、平成29年度本校の主な取り組みの成果と課題等について検討しました。その結果をご報告いたします。

本校の由来

本校は無線通信士を養成する学校として誕生しました。現在では、学校法人大阪電気通信大学（寝屋川市、四條畷市）の高等学校（守口市）に普通科（進学コース、健康スポーツコース）、電子工業科（理数コース、電子情報コース、医療電子コース、デジタルゲーム開発コース）の2科6コースを有する高等学校です。本校からの大学進学率は80%程度あり、大阪電気通信大学への進学に有利な高等学校です。

*改訂箇所

本校の由来の内、内田作蔵氏に関する内容について、不確かな部分がありますので削除いたします。（2018年11月7日）

学校教育目標として、

- 一. すべての生徒に確かな知識を与えます
- 二. 人間の生き方を教える教育をします
- 三. 心身ともに健康な生徒を育てます

を掲げ日頃の教育活動に取り組んでいます。

I. 学習意欲・成果向上を目指す取り組み

大学への進学率向上80%以上を目指します。

本校生徒の学力向上のために、

1. 高・大連携授業に取り組めます。
2. 進学希望者に対して特別進学ゼミ（無料・有料）に取り組めます。
3. 大学進学実績80%以上を目指します。
4. スローランナーに対しきめ細かな指導を行います。
5. 資格試験取得の取り組みを行います。

平成29年度も、学習の動機付け及び進路指導の一環として、大阪電気通信大学、追手門学院大学等との高・大連携授業を展開しました。

WG「特別進学講座検討委員会」の提案を基に平成27年度新1年生から、進学意識の高い生徒を対象にした特別進学講座を学校全体として実施し、3年後の大学合格・進学実績向上を目指しました。

スローランナーの生徒に対するフォローとして、従前にはない学年・教科の連携・指導を強化し、様々な創意工夫をこらして、生徒ひとりひとりをサポートしました。

【実施内容】

1. 普通科進学コースのために選抜クラスの導入を検討します。
2. 高大連携授業を、今後とも併設大学ならびに他大学と連携を強化し推進します。
3. 大阪電気通信大学への進学率向上（40%以上）を目指します。
4. 今後も特別進学講座、進学実績向上を目指して推進します。
他大学への一定数の合格を目指します。
5. スローランナーの生徒のフォローとして今後とも全力でサポートします。
6. 資格試験取得の取り組みを強化します。
7. 自習室を開設します。

【取り組みの成果】

1. 普通科に選抜クラスを設置しました。
2. 高大連携授業を併設大学並びに他大学と例年通り実施しました。
3. 大阪電気通信大学への進学率は31%であり、わずかにわずかに目標値は達成することができませんでした。
4. 4年制大学への進学率は、前年度と比較すると73%（昨年度79%）になり6%減少しました。
5. スローランナーの生徒をサポートしました。早朝、昼休み、放課後を活用して図書室等を活用して指導しました。
6. 情報技術検定試験、実用英語検定試験、漢字能力検定試験、実用数学技能検定試験などの資格試験の取得に取り組みました。
7. 自習室を2教室開設しました。

<自己評価>

[◎ . ○ . △ . ×]

【今後の取り組み】

1. 引き続き普通科選抜クラスの活動を推進します。
2. 高・大連携授業を、今後とも併設大学ならびに他大学と連携を強化し推進します。特に併設大学との連携をさらに強化します。
3. 大阪電気通信大学への進学率向上（40%以上）を目指します。
4. 今後も特別進学講座、進学実績向上を目指して推進します。
他大学への一定数の合格を目指します。
5. e-learningの導入を検討し、スローランナーの生徒並びに基礎学力の向上を目指します。
6. 資格試験取得の取り組みを強化します。

Ⅱ. 生き方を教え、健康な生徒を育てる取り組み

1. 社会性の向上のため 挨拶運動、時間を守る（遅刻をしない）、電車・自転車でのマナー向上、薬物乱用防止講習会等の講習会を実施します。
2. いじめ防止に取り組みます。
3. 教職員努力目標を行動の指針として教育活動に取り組みます。

人間としての基礎力に当たる社会的マナーを向上させる指導に努め、「良いこと」、「悪いこと」の分別の備わった生徒育成を図りました。具体的には、挨拶励行、時間厳守及び登下校中における電車での乗車マナー、道路上での交通マナー向上を図る啓発活動を行いました。

免許取得者（自動車教習所）ならびに自転車通学者（本校）を対象として近隣の自動車教習所（守口自動車教習所）と共同で、交通安全講習会を実施しました。

心身を蝕む薬物乱用について、その防止講習会を平成29年度も継続して実施しました。

また、平成27年度において、いじめ防止対策に関する規則を制定するとともに、いじめ防止等に対する基本的な取り組み指針を公表しました。いじめ事象の発生・深刻化を防ぐとともに、生徒自身の、いじめを許さない人間らしい生き方を育てていく本校の教育姿勢を明確にし、生徒指導に取り組みました。

WG「心身健全育成検討委員会」の提案を踏まえ、平成26年度から取り組んでいる次の教職員の努力目標を平成29年度も引き続き掲げて生徒に臨みました。

- 一. 生徒に対して丁寧なことばで接しよう。
- 一. 生徒に対して率先して挨拶声かけをしよう。
- 一. 生徒に対しては迅速な対応につとめよう。
- 一. 身だしなみについては生徒の垂範となるべく努力しよう。

【実施内容】

1. 今年もマナーの向上を目指し、特に時間厳守の指導をしました。
2. 今年も引き続き薬物乱用防止の指導を継続しました。
3. 今年もいじめ防止対策に学校全体で取り組みました。
4. 今年も自転車通学者対象に交通安全講習会を校内で実施しました。
5. 今年も免許取得者に対し近隣の自動車教習所にお世話になり、交通安全講習会を実施しました。
6. 今年も携帯電話活用マナー講座を実施しました。

【取り組みの成果】

1. 社会的マナーは向上し、特に挨拶や言葉遣いなどは良くなっています。
2. 薬物乱用防止講習会を開催結果、生徒たちの意識が高まりました。
3. いじめ防止対策に学校全体で取り組み、いじめの事例は0件でした。
4. 教職員努力目標4か条を遵守して、生徒との関係は良好でした。
5. 自転車通学者対象に交通安全講習会を校内で実施しました。
6. 免許取得者に対し近隣の自動車教習所にお世話になり、交通安全講習会を

実施しました。

7. 携帯電話活用マナー講座を実施しました。

<自己評価>

[◎ ・ ◯ ・ △ ・ ×]

【今後の取り組み】

1. 今後ともマナーの向上を目指し、特に時間厳守の指導を強化します。
2. 今後とも引き続き薬物乱用防止の指導を継続します。
3. 今後ともいじめ防止対策に学校全体で取り組みます。
4. 今後とも教職員努力目標4か条を遵守して、生徒と接します。
5. 自転車通学者対象に交通安全講習会を校内で実施します。
6. 免許取得者に対し近隣の自動車教習所にお世話になり、交通安全講習会を実施します。
7. 携帯電話活用マナー講座を実施します。

Ⅲ. 退学者を減らす更なる取り組み

1. 家庭との連絡を密にして遅刻・欠席を減らすよう取り組みます。
2. 試験不正行為は成績の低下を招くため不正行為が起こらないよう努めます。

退学者は平成28年度は、4.5%【38名】、平成29年度は4.3%【36名】となり減少の傾向にあります。

学力の向上、きめ細かな生徒指導等を通して、平成29年度は定期試験での不正行為0名を目指していましたが2件の事犯が発生しました。また、生活指導の事犯は10件18名となり昨年と比べると増加しています。平成30年度は事犯が減少するよう取り組みを強化する必要があります。

【実施内容】

1. 退学が決定する前の早期の段階で、複数教員の指導が出来る体制づくりを検討し、新しい仕組みをつくります。
2. スクールカウンセラーのさらなる活用を検討します。
3. 特別支援コーディネータを設置し、特別支援に取り組みます。

【取り組みの成果】

1. 学校への登校できない状況で、家庭訪問、保護者との懇談を実施し複数教員が関わって学年での取り組みが進んできている。
2. スクールカウンセラーの来校回数を増やす取り組みをしました。

3. 特別支援コーディネータを配置し支援室を設置しました。

平成29年度の退学者は36名(4.3%)でした。平成28年度は38名(4.5%)でした。

<自己評価>

[◎ ・ ○ ・ △ ・ ×]

【今後の取り組み】

1. 退学が決定する前の早期の段階で、複数教員の指導が出来るようになること。
学校全体で退学者減少に向けて取り組みを強化します。
2. スクールカウンセラーのさらなる活用を検討します。
3. 特別支援の在り方について検討します。

※ 各種本校評価より

IV. 教職員自己評価アンケート結果

毎年度末に、教員による「自己評価アンケート」を実施してきましたが、平成27年度からは、大阪府からの指摘事項を受けて、本校の当該年度の重点実施目標及びその取り組みと成果に関する事項を含めた「自己評価アンケート」として実施しました。

教員対象の自己評価アンケートの回答より、

財務関係の 10 人権教育18. 19. 環境教育 20
健康・食育 22 ボランティア26.
教員研修 35. 36. 37. 38. 39. 40

の項目に対して否定的な回答がありました。

特に 40. 研修、研究に参加した成果を、他の教員に伝えて情報を共有する体制がある。

の項目の結果に対して あまりあてはまらない・まったくあてはまらない

の回答が多くありました。

また、

20. ゴミ、リサイクル、省エネなど、身近な問題から環境への関心を高める教育
をしている。

26. ボランティア活動は活発だ。

38. 初任者等、経験の少ない教員を学校全体でサポートする体制がある。

39. 教員が計画的に校外研修を受ける体制が整っている。

の項目でも回答に あまりあてはまらない が多くありました。

この結果を受けて、それぞれの項目に対しての取り組みを検討し、取り組みを強化してまいります。

次年度は、最も低い

1. 研修・研究に参加した教員の報告の機会を設けます。

V. 卒業生徒・保護者に対するアンケート結果

本校のWG「満足度調査委員会」提案に基づき、平成27年3月卒業生及び保護者を対象とした「本校評価アンケート」を実施しました。卒業生は215名（普通科92名、電子工業科123名）のうち生徒の回答は213名【99.1%】、保護者の回答は161名【74.9%】です。

この調査は、本校の教育方針・活動（授業・補習・クラブ活動・行事・教職員対応・教育設備・施設等）に関する40項目（保護者27項目）についての満足・不満足度を問うものです。

満足であった回答は、

生徒の回答から

8. クラスは居心地が良かった 12. 13. 15 と教科に関する満足度満足度が高い傾向（回答の80%以上が満足）にあります。

満足度が80%以上 4項目 8,12,13,15

満足度が60%以上 26項目 であり75%の項目に対して満足の傾向にあります。

保護者の回答から、

3. 6. 8. 9. 12. 21. 27 の7項目満足度（回答の80%以上が満足）が高くなっています。

1.2.4.5.7.10.13.14.16.18.19.20.22.23.24.の15項目については60%以上の満足になっています。

全体として81.5%の保護者が満足の傾向にあります。

不満足であったという回答は、

生徒の回答から

5. 制服は着やすく、デザインも優れている

10. 電通高生としての誇りが持つことができた

31. 生徒会活動は活発であった

が40%未満の満足度です。

保護者の回答より

11.15.17.25.26の5項目について60%未満の満足度になっています、

VI. 学校関係者評価委員会

平成27年度から保護者・同窓会・地域住民を構成員に加えた「学校関係者評価委員会」を発足しました。本校の評価及び保護者・地域住民との連携に係る審議・評価が行われました。この評価は、教員の「自己評価」と併せ、本校のHPにて公表しました。

教員による自己評価アンケート

改善された項目

1. 情報公開(11,12)
2. 生活指導(29)
3. 進路指導(34)
4. 信頼される学校(42)

課題となった項目

1. 会議の有効性(7)
2. 人権教育(18, 19)
3. 健康・職に関する教育(22)
4. ボランティア活動(26)
5. 教員間での授業の評価(35)
6. 研修活動について(38,40)

生徒による学校評価アンケート

改善された項目

1. 授業が充実していた(12,13,14,15,16,17,19,20,22)

課題となった項目

1. 制服(5)
2. 電通高校生として誇りを持ってない(10)
3. 生徒会活動やクラブ活動が全般的に活発でない。(31)

保護者による学校評価アンケート

改善された項目

1. 差別やいじめをゆるさない(3)
2. 決まりをよく守っている(6)
3. 仲の良い友人ができた(12)
4. 進路関係(21)

意見交換

- A. 生徒の制服の着こなし方やマナーがよくなった。挨拶をしっかりとってくれるので大変気持ちがいいです。昔の生徒さんと比べるとずいぶんおとなしくなった。ゴミ拾いをしている姿もとても印象がよいです。
- B. 用事があって来校しても挨拶をしっかりとってくれるので気持ちがいい。クラブ活動も活発であり活気を感じる。まじめに取り組んでいるという印象が強いです。

【実施内容】

1. 教員による自己評価アンケートを実施しました。
(内容は重点実施目標及びその取り組みと成果の50項目)
2. 卒業生・保護者による本校評価アンケートを実施しました。
(卒業生40項目・保護者27項目)
3. 第3回学校関係者評価委員会開催しました。
(保護者、同窓会、地域住民で本校の評価)
4. 本校ホームページに公表しました。(上記1. 2. 3. の内容)
5. 授業参観を実施しました。

【取り組みの成果】

学校関係者評価委員会を開催し、保護者代表・同窓会代表・地域住民代表の方々の意見や評価を頂きました。

<自己評価>

[◎ ・ ◯ ・ △ ・ ×]

【今後の取り組み】

1. 今後とも外部の方々との連携や交流を深めて評価や意見を頂き、今後の学校運営に大いに役立てたいと思います。又、学校評価等で評価の低い回答の項目に対しては改善策を検討し、全教職員による実践が不可欠です。それぞれの項目に対して全力で取り組みます。

分類	評価の観点	評価項目	No	設問
教育内容	その他	読書推進	24	図書館の利用促進など読書指導に取り組んでいる。
		部活動	25	部活動は活発だ。
		ボランティア	26	ボランティア活動は活発だ
		学校行事	27	文化祭などの学校行事は活発だ。
		スポーツ・芸術文化	28	スポーツ活動、芸術文化活動を計画的に教育活動に取り入れている。
生徒指導・生徒指導	生徒指導	指導方針の一貫性	29	生徒指導は学校の方針に従っている。
		生活指導について	30	生徒の生活指導に組織的に対応する体制がある。
		家庭との連携状況	31	生徒指導において、家庭との連携ができています。
	生徒支援	学習指導について	32	学習指導において、生徒の実態に合わせた指導方法の工夫・改善を行っている。
		カウンセリング体制	33	カウンセリングマインドを取り入れた支援体制がある。
		進路指導について	34	生徒一人ひとりの興味・関心・適性に応じた進路選択ができるような支援体制がある。
教員研修・教員研修	教員研修	教員の資質向上について	35	教員間で授業内容を評価、意見交換などを行う機会がある。
		体罰について	36	体罰の未然防止に恒常的に取り組み、体罰を防止できる体制がある。
		校内研修	37	効果的な校内研修計画を立案し、教職員に実施している。
		初任者のサポート状況	38	初任者等、経験の少ない教員を学校全体でサポートする体制がある。
		校外研修	39	教員が計画的に校外研修を受ける体制が整っている。
		研修成果の共有状況	40	研修、研究に参加した成果を、他の教員に伝えて情報を共有する体制がある。
学校方針の全般	全般	在籍生徒数の維持	41	退学者を出さないきめ細かい生徒指導が出来た。
		信頼される学校	42	地域社会や中学校からの評価が上がっている。
	学習	電通大との高・大連携	43	電通大見学、高大連携授業、体験講座、入試説明会など、大学との意思疎通ができています。
		大学受験指導	44	多様化する受験制度の調査・研修を行い、適切な受験指導ができています。
		授業の工夫①	45	学力上位者に対する効果的な授業体制ができています。
		授業の工夫②	46	学力不振者に対する効果的な授業体制ができています。
		資格・検定	47	各種検定、職業資格取得の指導ができています。
	生活	基本的生活習慣①	48	遅刻指導、登下校指導の成果があった。
		基本的生活習慣②	49	服装・頭髪等身だしなみの指導の成果があった。
		基本的生活習慣③	50	あいさつなど、マナー・礼儀の指導の成果があった。

2017年度			2016年度		
評価	A B %	C D %	評価	A B	C D
B	76	24	B	74	26
A	94	6	A	91	9
D	24	76	D	12	88
C	56	44	B	60	40
B	76	24	A	86	14
A	100	0	B	77	23
B	79	21	A	80	20
A	91	9	A	85	15
B	79	21	A	83	17
B	79	21	C	54	46
A	82	18	B	74	26
D	22	78	D	37	63
C	45	55	D	35	65
C	58	42	C	49	51
D	33	67	D	29	71
C	45	55	C	40	60
D	24	76	D	29	71
B	70	30	B	74	26
A	82	18	B	66	34
A	91	9	A	80	20
B	79	21	B	69	31
B	67	33	B	63	37
B	64	36	B	63	37
A	91	9	A	91	9
A	85	15	A	80	20
A	94	6	A	83	17
A	94	6	A	94	6

80%以上 A 13
 60%~80%未満 B 20
 40%~60%未満 C 9
 40%未満 D 8
 ↑ 9
 ↓ 6
 前年度と変わらず 35

2017年度'学校評価アンケート生徒集計結果 2017年度
213名回答

2016年度
291名回答

番	項目	評価		評価	
1	学校は教育目標をわかりやすく伝えている	C		C	
2	電通高校には他校にない特色がある	B	↑	C	
3	生徒の安全や健康に関わる指導に積極的に取り組み、事故防止に	B	↑	C	
4	差別やいじめを許さず一人一人の生徒を大切にしている	B	↑	C	
5	制服は着やすく、デザインも優れている	D		D	
6	事務職員は親切に対応してくれた	B		B	
7	学校行事は充実していた	C		C	
8	クラスは居心地が良かった	A	↑	B	
9	目標を持って充実した高校生活を送れた	B	↑	C	
10	電通高校生としての誇りが持つことができた	D		D	
11	国語の授業は充実していた	B		B	
12	地歴・公民の授業は充実していた	A	↑	B	
13	数学の授業は充実していた	A	↑	B	
14	理科の授業は充実していた	B	↑	C	
15	体育の授業は充実していた	A	↑	B	
16	芸術の授業は充実していた	B	↑	C	
17	家庭科の授業は充実していた	B	↑	C	
18	英語の授業は充実していた	B		B	
19	工業科目の授業は充実していた(工業科の生徒のみ)	B	↑	C	
20	課題研究は充実していた(工業科生徒のみ)	B	↑	C	
21	普通科情報教科の授業は充実していた(普通科生徒のみ)	B	↓	A	
22	高大連携授業は充実していた	B	↑	C	
23	朝学・朝読の取り組みは充実していた	B	↑	C	
24	放課後や長期休暇中の補習は適切に実施されていた	B	↑	C	
25	コース選択の指導は適切に行われていた	B	↑	C	
26	先生は学習についての質問や、いろいろな相談に丁寧に応じてく	B	↑	C	
27	挨拶や言葉遣いについて指導に熱心だった	B	↑	C	
28	遅刻や欠席に対して指導に熱心だった	B	↑	C	
29	校則や学校の決まりは適切でふさわしい	C	↑	D	
30	クラブ活動は活発であった	C		C	
31	生徒会活動は活発であった	D		D	
32	一人ひとりの生徒に合った適切な進路指導が行われていた	B	↑	C	
33	進路に関する資料や情報が適切に提供されていた	B		B	
34	面接や小論文・作文の指導が丁寧に行われていた	B		B	
35	進路に関するいろいろな説明会が充実していた	B	↑	C	
36	学校施設全般は充実していた	C	↑	D	
37	実験・実習等の設備は充実していた	B	↑	C	
38	食堂は充実していた	C		C	
39	図書室は充実していた	C		C	
40	校内の美化・清掃への取り組みは適切であった	B	↑	C	
	80%以上	A		4	1
	60%～80%未満	B		26	9
	40%～60%未満	C		7	25
	40%未満	D		3	5

番	項目	評価		評価	
1	電通高校は教育理念・方針をわかりやすく伝えている	B		B	
2	電通高校は、他校にない独自の教育活動に取り組んでいる	B		B	
3	電通高校は、差別やいじめを許さず一人一人の生徒を大切にしている	A	↑	B	
4	生徒の安全や健康に関わる指導に積極的に取り組み、事故防止に	B		B	
5	お子さんの学力は向上したと感じている	B		B	
6	電通生は校則や学校の決まりをよく守っている	A		B	
7	ホームページやメルポコによって必要な情報が有効に発信されて	B	↓	A	
8	教員の保護者への対応は適切であった	A		A	
9	事務職員は丁寧に対応してくれた	A		A	
10	お子さんの悩み事を親身になって相談できる教員がいた	B		B	
11	学校行事は充実していた	C	↓	B	
12	電通高校に入学してからお子さんに仲の良い友人ができた	A	↑	B	
13	お子さんは目標をもって充実した高校生活を送ることができた	B		B	
14	授業は分かりやすいようであった	B		B	
15	成績不振者への学習指導は適切であった	C		C	
16	コース選択の指導は適切に行われていた	B		B	
17	クラブ活動は活発であった	C		C	
18	制服については満足だった	B		B	
19	指導を行う上での教員の姿勢・態度は適切であった	B		B	
20	基本的な生活習慣や日常生活のマナーが身につくよう指導がなされ	B		B	
21	進路に関する資料や情報は適切に提供されていた	A	↑	B	
22	電通大学についての情報は適切に提供されていた	B	↓	A	
23	面接や小論文・作文の指導は丁寧に行われていた	B		B	
24	進路に関するいろいろな説明会は充実していた	B		B	
25	学校施設・設備は充実していた	C		C	
26	校内の美化・清掃への取り組みは適切であった	C	↓	B	
27	電通高校に入学させてよかった	A		A	
	80%以上	A		7	5
	60%～80%未満	B		15	19
	40%～60%未満	C		5	3
	40%未満	D		0	0